

# 清流 ニュース

発行所  
八王子市子安町 1-22-25  
清流寺  
清流ニュース編集室  
電話 (042) 646-0287(代)  
FAX (042) 644-1164  
http://seiryuji.jp.org/

**令和元年度総祈願**  
本年度教化誓願達成  
創建七十周年記念事業御有志奉納成就之御願  
教区再編成御奉公成就  
教務員増加・役中後継者養成

祥月法要が、営なまれます。  
乗泉寺門末約百ヶ寺の住職  
局長が参集して奉修されるこ  
とになっております。  
ご墓前においては、弘通成  
績の奉呈言上式も執り行なわ  
れます。

**令和元年度  
東京中央布教区  
夏期交流参詣  
久遠寺さんと  
七月十四日  
久遠寺様より激励参詣  
八月四日  
当山から久遠寺様へ!**

## 八月の御総講日

一日 十時 御修行日  
七日 十時 バースデー総講  
日序上人報恩折念  
十三日 十時 高祖御命日  
開導御命日  
**十七日 一時** 開導御命日  
門祖御命日  
廿五日 十時 於 清流寺

十二日 十時 高祖御速夜  
十六日 十時 開導御速夜  
廿四日 十時 門祖御速夜  
三十日 十時 歡尊御命日  
於 羽村別院

會議  
一日 御総講後 役中會議  
廿五日 御総講後 ブロック  
長會議  
廿五日 午後二時 参事會



## 高祖大士ご降誕八百年 慶讃ご奉公に全力を、 一人ひとりがその気になって!

夏期参詣、夏の御会式も無  
事ご奉公成就させていたゞき  
ました。

高祖大士ご降誕八百年慶讃  
ご奉公の第二年度も、あと  
四ヶ月となりました。

お寺での教化道場や、各教  
区毎の教化道場は活発に行な  
われておりますが、まだ充分  
な成果が上がっていない現状  
です。まだまだ奮気せね  
ばなりません。

御弘通ご奉公は、ひとり一

を頂戴して、教化達成をめざ  
しましょう。  
あくまでも「やる気」にな  
ることが誓願達成への近道と  
申せましょう。  
さあ! まだ未成就の教区  
は全力を挙げてまい進いたし  
ましょう。

### 佛立第十五世講有

田中日晨上人

八月三十一日 祥月御命日  
世田谷別院にて御速夜法要

今月三十一日は、第十五世

講有田中日晨上人の祥月御命  
日です。乗泉寺門末の信広会  
は、御速夜の八月三十日に、  
乗泉寺世田谷別院に於て、ご

### 八月朝参詣強調週間

二日～六日  
第六・第七・第八ブロック  
小金井・大和・東村山・昭島教区

八月の朝参詣強調週間は、  
第六ブロックの小金井、第七  
ブロック 大和、東村山、第  
八ブロック 昭島教区の担当で  
す。

殊に、六日は全教区で参詣  
させて頂いて、教化誓願達成  
をご祈願させていたゞきま  
しょう。

八月二日(金) 小金井教区  
三日(土) 大和教区  
四日(日) 東村山教区  
五日(月) 昭島教区  
六日(火) 全教区

## 同帰亭要語録



## 八風

賢人は八風と申して、八つ  
の風にかされぬを賢人と申  
すなり。利・衰・毀・譽・  
称・譏・苦・楽・也 おほむ  
ね利あるによりて、よろこば  
ず。衰ふるになげかず等の事  
也此の八風にかされぬ人を

ば、必ず天まもらせ給ふ也。  
(四条金吾殿御返事)

軽いものは風の吹く度に動  
かされて、少しも安定しません  
が、ドッシリと重いものは、  
かなり強い風でも動かされる  
事なく、常に安定していま

す。確固たる信念を持つてい  
る人は決して、その周囲のも  
のに動かされることはありません。  
守つてゆけるのであります。  
八風という事については  
此ノ八法ハ世間ノ愛スル  
トコロ憎ムトコロニシテ能ク  
人心ヲ煽動スルガ故ニ之ヲ名  
ツケテ風トナス。苟クモ心ニ  
主アリテ正法ニ安住シ、愛憎  
ノ為ニ惑乱セラレザレバ、即

チ八風モ動カス事能ハザルナ  
リ”(仏地経論)と示されて  
あります。  
八風とは、利・衰・毀・譽・  
稱・譏・苦・楽の八つですが、利とは得意  
の境遇。衰とは失意のとき。  
毀とは陰で非難すること。譽  
とは陰でほめること。称とは  
其の人の前でほめること。譏  
とは其の人の前で非難するこ  
と。苦楽は何事にもあるわけ  
です。凡夫はこの中で、利譽

称譽を求め衰毀譏苦を嫌つて  
之を避けるために、どのくらい  
心を勞するかわかりません。  
そして人と相争い、その為  
は手段をえらばぬという工合  
になるのであります。  
。どんなときでも、御法のお  
計らいが頂けるのだ」という  
信念があれば、八風にゆすら  
れる事はありません。受持口  
唱を怠らないものは何が起き  
ても不動です。

。南〇経と唱ふるうちに心  
の苦しきも止み、はらだたし  
き事あるもやみ、心しづかに  
楽々となりて、しらず、はか  
らず、罪障を滅する也。これ  
誠に不思議の経の御力也祈願  
こゝに成就す。(安樂教導抄)  
と、御指南下されてあり日夜  
朝暮にお看経があがつていれ  
ば、決して八風におかされな  
いわけです。平常の受持口唱  
の信心が大切ということにな  
るのであります。